



学校報 勇ヶ岡

<今年度の合言葉>

“決める力”

を育てよう

湯沢市立山田小学校 令和2年度 学校報 民生児童委員協議会9月版 R2.9.16 (水) 発行
山田小学校の学習、行事、活躍等に関する情報を、この「勇ヶ岡」を通じてお届けします。

学校行事に関して

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1学期から2学期に延期した運動会、修学旅行、2学期に予定している学習発表会について、今後どのように行うのか気になっておられることと思います。山田小学校では、運動会と学習発表会に関して実行委員会を組織し、方向性を話し合いました。また、6年生の修学旅行に関しては、保護者の皆さんに新型コロナウイルス感染症拡大防止を念頭においた修学旅行の説明会を開催しました。今後、細かいところを詰めていく予定です。コロナの発生状況によっては大きく変更になることがありますので、ご承知おきください。

<学習発表会>

期日：9月19日(土) 日程：半日

種目に関して

- ・全校合唱、職員の出し物は取り止め
- ・校長挨拶、6年生挨拶は放送で行うか検討中
- ・1,6年生は劇、他の学年は周りの学年と相談しバランスを考えて種目を決定



3密にならない工夫等コロナ対策

- ・紅白幕を張らず、換気タイムを設定
- ・莫塵(ごさ)は使用せず、テープで柵席をつくり、座るものは各家庭で持参
- ・前半後半、もしくは低学年中学年高学年に分け、観客の入れ替え制で実施
- ・各家庭でのスリッパの持参、マスクの着用
- ・子どもの出番までご家庭の皆さんが待機する食堂での子どもたちの様子のスライドショーの実施
- ・来賓はなし

<スポーツ集会(仮称)> (運動会の代替)

期日：10月23日(金) 日程：半日

種目に関して

- ・色別で実施(6年生のリーダー性伸張のため)
- ・保護者種目はなし
- ・コロナ対策で、綱引き、綱取りはなし
- ・全員、徒競走あり
- ・ダンスは全員で「パプリカ」
- ・駅伝はなし。長めのリレー(ミニミニ駅伝)を実施
- ・他の種目と集会の名称は、体育委員会が中心となり、子どもたちの意見より決定。



保護者の皆さんの参観・協力に関して

- ・保護者の皆さんの応援は、テントを立てない程度で自由
- ・集会役員としてPTA体育部に要請予定。更にも

数が必要な場合は、ボランティアを募集する予定

<6年修学旅行>

期日：10月8日(木)～9日(金)

旅行先に関して

- ・6月下旬に実施した保護者アンケート結果(従来通り仙台方面：11名、県内・岩手・市内の安全な場所：16名、分からない：2名)と、現在、他県でコロナ罹患者が増加中であることを勘案し、男鹿半島方面経由田沢湖方面(秋田県内であり、具合の悪い子どもが出た際に家族が迎えに来られる範囲)で進行中
- ・最終的な案については、保護者の皆さんに説明会で提示し、ご意見・ご希望を伺った上で、最終決定
- ・6年生全員が参加同意書で参加することが決定



学童野球長沼大会地区予選結果

7月18日(土)に雄勝野球場で行われた秋田県学童野球長沼大会地区予選。本校の子どもたちは、駒形小学校スポ少と対戦し、再三のピンチを凌ぎながら好機をつくり追い付きましたが、パスボールの間に2点入り、それが決勝点となり惜敗しました。久しぶりの天気の中でプレーする姿に次の大会での活躍の予感がしました。



た。選手の皆さん、保護者の皆さん、お疲れ様でした。

三輪山田 1-3 駒形

三輪山田	0	0	0	0	0	1	0	1
駒形	0	0	1	0	0	2	X	3

今年も図書費寄贈

昨年度、秋田市の中小企業活性化サポート代表の高橋朱実さんから図書購入に使ってほしいと25万円の寄贈の申し出があり、上の写真にあるようにたくさんの本を購入させていただきました。図書館に不足していた理数系の本や子どもたちから要望の多かった本を中心に購入し、



(次ページにつづく)

子どもたちが喜んで読書に取り組んでいます。

その後、高橋さんが学校を訪問される機会があり、子どもたちの読書に取り組む姿勢や様子にいたく感激されて、今年度も20万円寄贈していただきました。

高橋さんは旧雄勝町出身で、副代表をされている方がこの山田地区出身というご縁での寄贈です。山田小学校の図書館がさらに魅力的になるよう、さらに充実した本を揃えることに活用させていただきます。

ちなみに、子ども読書活動支援員の阿部猛先生は、湯沢図書館で使用しなくなった図書の中でまだまだ使えるもの（見た目には新品のもの）を山田小学校図書館にもらってきてくださいました。

様々な方たちが山田小学校の子どもたちを応援してくれています。とてもありがたいことです。

7月の全校集会より

7月の全校集会を7月15日(水)に行いました。今回の集会では、音楽部が「パプリカ」を演奏して、それに合わせて子どもたちが踊りました。音楽部にとって、例年行われていた様々なコンクールが全てなくなってしまい活躍の場がなかっただけに、嬉しいひとときとなりました。朝の始業前や2校時と3校時の業間に練習している音が聞こえてきていただけに、発表の場ができてよかったです。



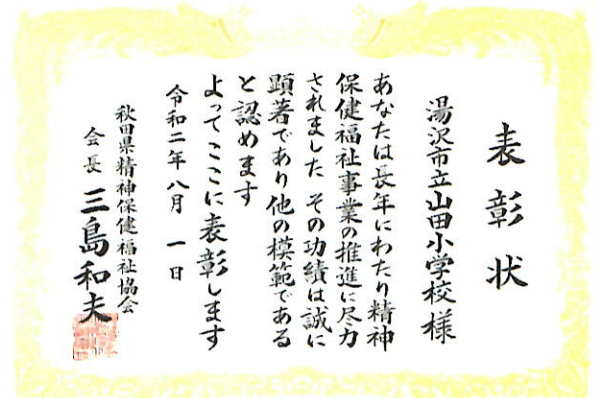
7月は、2年生担任の丹美和子先生のお話がありました。題は「頭がよくなる話」。その題だけで子どもたちはグッと惹き付けられました。「頭がよくなるということとはどんなこと?」「神経細胞の絡み合いは、いつ頃盛んになるの?」「脳の働きをよくするためには、体のどこを動かすと一番よいですか?」という質問に対して用意された4~5の答えの選択肢の中から子どもたちが選びながら話を聴く参加型のお話でした。

脳の発達と年齢の関係のグラフを見ながら、脳の神経細胞が一番発達するのは0~3歳の時期で、2番目、3番目に発達する時期は、5~7歳、10~12歳という小学生の時期であることを知り、自分たちの過ごしている時期の大切さを感じたようでした。脳の働きをよくするためには手を動かすのが一番よいことから、学校で一番たくさん手を使う文字を書く時は、よい刺激を脳に与えるように、集中してしっかりと力を入れて書くことが大事であることを学びました。そのためには、正確な鉛筆の持ち方が大切で、お話は『鉛筆を正しく持って頭のよい山田っ子になろう』と閉じられました。面白いお話でした。



精神保健福祉事業功労者表彰

山田小学校に「精神保健福祉事業功労者表彰」の賞状が届きました。これは、秋田県精神保健福祉協会から、精神保健福祉の向上に尽力しているとして贈られるものです。学習の一環として福祉施設を訪問しての交流を図ったり、音楽部が施設祭に出かけて演奏を披露したりするなどの日頃の活動が対象になりました。子どもたちの日頃の活動が認められたものと喜んでいただいております。



学校にお出での際は、職員室前の廊下に表彰状を掲示してありますので、是非、ご覧ください。

楽器寄贈される

「音楽のまち ゆざわ」を宣言している湯沢市では、本年度、全国で使われなくなった「休眠楽器」の寄附による楽器寄附ふるさと納税を実施しています。これは、ふるさと納税の仕組みを生かして小中学校向けに楽器を寄附してもらうことで楽器の査定額に応じて税金が半額除されるものです。本校音楽部の備品の楽器が不足している現状から寄附を希望していましたが、今週月曜日に和田隆彦教育長が来校し、上の写真にあるようなトランペット (YAMAHA YTR-2335S) が届けられました。

寄贈してくださったのは、東京都豊島区西巣鴨在住の仲野雅之さんという方です。仲野さんは、小学校時にトランペット隊でトランペット演奏をはじめ、高校時代は吹奏楽部でトランペットを担当し、指揮者などを務めた経験があるそうです。大学を卒業してからは、いくつかの市民吹奏楽団でトランペットを担当し、現在は東京都豊島区で活動しているサンシャイン・ウィンド・オーケストラに所属しているそうです。



(次ページにつづく)

寄贈式では、本校音楽部部長でトランペット担当の富谷妃由(ひより)さんが、次のようなお礼の言葉を述べて受け取りました。今後、学習発表会をはじめとする披露する機会がありますので、ご承知おきください。

本日は、楽器を寄贈していただきありがとうございます。ごぞいます。

今まで使用していた楽器は、音程を合わせるのが難しかったので、寄贈してもらうのがとても嬉しいです。

これからは、さらによい演奏ができるように頑張りたいと思います。

大切に使用させていただきます。本当にありがとうございます。

非行防止・健全育成標語



山田地区民生児童委員協議会が毎年行っている「児童生徒非行防止・健全育成標語」募集で、次の4年生2人の作品が入選しました。これらの作品は立派な看板となり、

り、中学生の作品とともに山田地区センター敷地内(道路から学校に入ってすぐの右手)に8月25日から掲示されています。学校にお越しの際は、是非ご覧ください。

いじめはね 自分の心を ダメにする

深堀 高橋 結倫

広げよう やさしい気持ちや 思いやり

中川原 井上 結琳

9月の全校集会より



9月2日(水)に全校集会を行いました。これまでのバスケットボール大会、野球新人大会の賞状伝達を行いました。それに先駆けて、今回は4年生担任の今入理佳子先生から、全力で頑張ることの大切さを伝える「ノミの話」がありました。次のような内容です

ノミの体長は2~3ミリ位ですが、何と1メートルの高さまでジャンプすることができます。このノミを高さ10センチの箱に入れフタをす

るとどうなるでしょうか。(子どもたちに選択肢から選ばせる)ノミははじめ天井に頭をぶつけますが、そのうち学習して10センチぎりぎりの高さでジャンプするようになるそうです。今度は、高さ5センチの箱に入れ

るとどうなるでしょうか。(子どもたちに選択肢から選ばせる)5センチの箱に入れると、やはり5センチしか跳ぶことができなくなってしまうそうです。1メートルもの高さを跳ぶことができたノミが、5センチの高さしか跳ぶことができなくなってしまったのです。これは、人間でも同じなのです。本当は力があるのに、その全力を出さないで「まあ、これくらいでいいか」と思って能力にフタをしてしまうと、本当にそこまでの力になってしまうのです。

何にでも全力で取り組める人は、力を伸ばしていきます。毎日を全力で取り組んでいきましょう。

ネット利用を考えて

夏休み中の生活を振り返る資料として、メディアとの付き合い方について家族でルールを決めて取り組む活動がありました。その振り返りの状況を確認する中で、ゲームをやり放題、ネットを利用し放題という心配な子ども・家庭がありました。メディアと長時間向き合っていた子どもについては養護教諭の高橋美里先生が声掛けをし、2学期はその生活を引かずらないように指導しています。それでも、夜遅くまで、または、朝早くから、**夜8時までの利用の**はずがゲーム漬けの子どもがいて、学校に来てから居眠りをしたり、体調の不良を訴えたりするという実態があります。



どのようにしてこういう

事態を減らしていけるか今回の学校報で提案します。特に子どものことを心配しているご家庭では、是非、実行していただければと思っています。

子どもたちの話を聞いていると、よく「フォートナイト」というゲーム名が出てきます。この「フォートナイト」はオンライン上でチームで対戦するゲームですが、ゲームは暴力的な内容を含むため、**日本ではゲーム審査団体が対象年齢を15歳以上と定めていること**をご存じでしょうか。つまり、**小中学生は利用してはダメ**なのです。チーム同士で対戦する団体戦のため、一人でもメンバーが欠けると戦力が下がります。そうすると、「仲間に迷惑をかけたくない」「自分のせいで負けたら困る。」そんな責任感から、簡単に止められなくなるそうです。一度休むとチームに迷惑が掛かったということで武器をお金で買って貢献するということで、**これが行き過ぎた「課金」にも繋がっている実態がある**ようです。ひどい場合には、**このことが原因でいじめの対象となり、不登校になった子どももいる**そうです。

そこで、もう一度、家族でスマートフォンの使いすぎを防ぐ方法について話し合っしてほしいと考えています。

仮に1日2時間スマホに向かっているとすれば、1カ月で2時間×30日=60時間。それが1年間続くと、60時間×12カ月=720時間。1日24時間で割ると、なんと30日間びつりスマホと向き合っていたことになりま

(次ページにつづく)

もかいましたが、その調子で1年過ぎすと90日間スマホと向き合っていることになります。つまり1年の4分の1はそういう状態だということです。「1日2時間くらいなら」と軽く考えていたのが、「1年のうち30日、つまり1カ月もスマホ漬けだった」ということになります。

子どもたちにはこのように、「使いすぎ」を自覚させ、もっと意義ある時間を過ごせるように主体的に意識を変えるように仕向けてほしいと思っています。

そのために保護者が今すぐできる一つの方法を紹介します。「いくら言い聞かせて注意しても効果がない」「親子で確認した使い方のルールを守ってくれない」

という時には、保護者による時間のコントロールをしてください。例えばiPhone(アイフォーン)には、「設定」の中に「スクリーンタイム」という機能があり、休止時間(画面を見ない時間帯)やアプリ内課金の有無などを設定できます。利用や解除の際には暗証番号(パスワード)を入力するため、保護者が番号を管理すれば子どものiPhoneに制限をかけられる仕組みです。割と簡単にできますので、是非、子どもの将来のためと考えて利用してみてください。Android(アンドロイド)のスマホの場合は、専用アプリを導入すれば同様の機能を設定できるそうです。

湯沢市雄勝郡ミニバスケットボール夏季交流会、健闘する

8月8日(土)～9日(日)に湯沢市総合体育館で行われた郡市ミニバスケットボール夏季交流会では、本校の子どもたちのひたすらボールを追う姿、声を掛け合いながら協力してシュートを狙う姿が随所でみられ、応援する私たちにも力が入りました。

この大会で4位以内に入ると、9月中旬の湯沢市雄勝郡小学生バスケットボール交流会、11月上旬の秋田県ミニバスケットボール大会湯沢市雄勝郡予選大会のシード権を得ることができるという、大切な大会でした。男女とも次の成績の通り上位に食い込み、しっかりと男子第3シード、女子第2シードとシード権を得ることができました。おめでとうございます。

< バスケットボール部 >

女子:準優勝 男子:第3位

<男子結果>

1回戦 三関山田 66-15 稲川
準決勝 三関山田 47-52 湯沢東

まだ、上に目指す目標があるうちは、その目標に向かって伸びていく楽しみがあります。昨年度はそれまで勝つことがなかったライバルに11月の大会で勝利し優勝しています。来年1月に行われる全県大会への切符を手に入れる11月の郡市予選に向けて、今後も頑張っていく姿を応援していきたいと思います。



<女子結果>

1回戦 山田 55-40 西馬音内
準決勝 山田 46-35 東成瀬
決勝 山田 28-57 羽後

第18回東北学童軟式野球新人大会湯沢雄勝地区予選

夏休みも最終週となる8月21日(金)～23日(日)にかけて上記野球大会が皆瀬野球場を会場に行われました。初戦となる対羽後明成小戦では緊張もあつてか今ひとつかみ合ったプレーが少なかったようですが、準決勝、決勝の2試合は、5年生以下の新人大会とは思われないほどの引き締まったいい試合を展開し、応援する方でも見応えのあるものとなりました。

準決勝では、湯沢東と対戦し、最終回に1点を取り劇的勝利となりました。

< 野球部 > 準優勝

1回戦 三輪山田 12-7 羽後明成
準決勝 湯沢東 0 0 0 0 0 0 0
三輪山田 0 0 0 0 0 0 1x
決勝 三輪山田 0 0 0 0 1 0
皆瀬 0 0 2 0 0 x

決勝戦では、皆瀬に対して、2回には2アウト満塁、4回には1アウト満塁まで攻め込みましたが、惜敗となりました。5回裏で試合時間が1時間20分を過ぎたため、大会規定により6回が最終回となりました。写真にある立派なカップと賞状をもらってきました。今後の活躍が楽しみとなる試合内容でした。おめでとうございます。

